

# 日工會報

第12号

平成17年2月20日

発行 日立工業高校同窓会

発行者 同窓会事務局

日立市城南町2-12-1

☎ 0294 (22) 1049

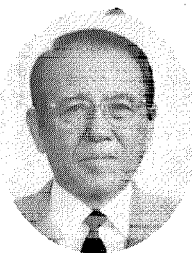
FAX 0294 (21) 4591

印刷所 協立印刷

☎ 0294 (35) 7857

## 会長挨拶

同窓会会長 長谷川 宏



同窓会員の皆様方には、益々ご健勝にお過ごしのことと拝察いたします。

会報も、会員の皆様方のご協力でここに第十二号の発行を迎えることとなりました。

会員の皆様方には、母校卒業後には各支部に入会しているとは思いますが、支部の近況報告など他支部から見ると大変好評をいただいております。また、母校の後輩達の種々の活躍ぶりも掲載されておりますので、併せて好評をいただいております。

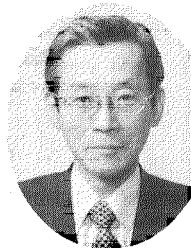
これらのことについては継続を何卒よろしくお願いいたします。

昨年度より同窓会長となりましたが、その間、これまで同窓会発展のため大変ご尽力された小林啓一前会長が、ご逝去されたのは返す返すも大変残念なことでありました。小林前会長には心からお悔やみ申し上げますとともにご冥福をお祈り申し上げます。

本年度は3年に一度の日工祭が10月下旬に行われ、母校に足を運びました。会場は後輩達が日工祭の熱気にあふれ楽しんでる姿に感動しました。また校舎本館には部活動の活躍ぶりを象徴するように同窓会とPTAで構成された記念基金管理委員会より、関東大会や全国大会出場のお祝いの垂れ幕が下がっており部活動も盛んであると感動しました。同窓会役員として新たに相談役として鈴木竹之様(23年旧中卒)、永井博康様(23年旧中卒)の2名を迎えまして、これまで以上に発展させたいと思っておりますので会員の皆様方のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

## 学校長挨拶

学校長 鈴木 茂



同窓会会員の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃は母校の教育活動につきまして、多大のご後援を賜り、厚く御礼申し上げます。

すでにご存じのように小林啓一前会長様におかれましては、会長職をご勇退後、体調を崩され療養中でしたが、七月十九日にご逝去なさいました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。長年本校教育発展のために幾多のご貢献を頂いただけに、誠に残念、誠に痛恨、哀悼の情にたえません。在天の星となられた小林前会長様、どうかご遺族のご幸福と日立工業高校を見守りながら、安らかに眠って下さい。

さて、本校では本年度も昨年度に続き、二年生の就職希望者を中心に百三十一名が十月にインターシップを実施しました。同窓会

員の多くの皆様にも在校生がお世話になったことと思います。ご指導ありがとうございます。今後も継続して実施予定ですので受入れ並びにその指導にご理解をお願いいたします。

もう一点、本校は今年度から三年間「日本版デュアルシステム」推進事業という文部科学省の研究指定を受けました。デュアルシステムとは、ドイツの学校教育制度の中の職業教育・訓練制度であり、生徒は、職業学校で職業科目と普通科目を学び、企業で職業訓練を受ける制度です。これを基に我が国の専門教育に適応させようというものが「日本版デュアルシステム」です。インターシップは、望ましい職業観・勤労観の育成のため短期間の就業体験を行うのに対し、日本版デュアルシステムでは、学校と企業が協力して長期間の就業体験をさせ、生徒を一人前の職業人に育成するシステムです。その研究が本推進事業の主旨であり、全国で十五地域・二十校が指定されています。

本校の研究のねらいの第一点は、地元企業が蓄積してきた技術や技能の継承を担う人材を、企業におけるより実際の・実践的な教育・訓練を通して育成すること。第二